

体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

高知県防災キャンプ推進事業

高知県教育委員会事務局学校安全対策課

【事業のポイント】

- 中山間部や長期浸水の予想される中心部の地域をフィールドに、海型・山型の4つのモデル地区を指定し、土砂災害や山津波等からの避難を想定して、小学生や中学生を中心として「自分たちができること」を考え実行できるような防災キャンプを実施する。
- 自主運営による避難所開設のシミュレーションや避難生活の体験を行う。
- 県教育委員会主催による高知県防災教育推進フォーラムを開催し、取組の普及・啓発を行う。



【高知県防災教育推進フォーラム実践発表・大柄中】

1. 企画

(1) 事業実施の背景

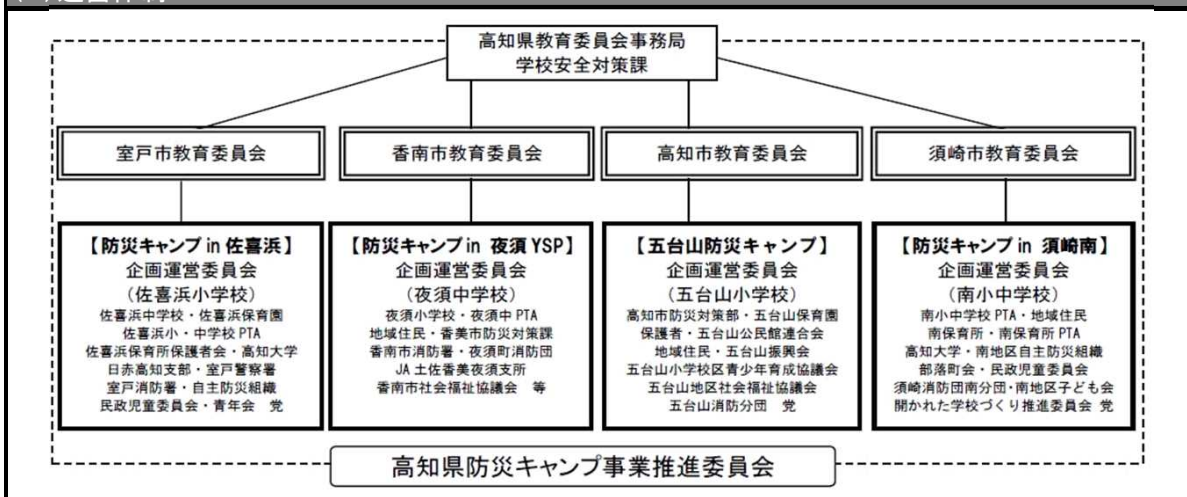
南海トラフ地震への備えは高知県の喫緊の課題であり、東日本大震災を踏まえ、とりわけ、学校・地域が連携した防災教育の重要性が再認識された。災害発生時に児童生徒等が的確に判断し、「自分の命を自分で守る」ことができるよう、また、年齢があがるにつれて自分を守るだけでなく周囲にも心を配り、地域の防災に貢献できるよう、発達段階に応じた防災教育の一層の推進が必要である。

(2) わらい

- 児童生徒等が避難生活を体験することによって、災害発生時の行動や生活を考える機会とする。
- 学校・保護者・地域住民・行政等の参画による防災キャンプのプログラムを計画・実施することで、地域の絆づくりを促進する。
- 海型・山型の4つのモデル地区で、土砂災害や山津波等の様々な被害想定による避難所体験を実施し、事前の備えや対策について考える機会とする。
- 参加者全員での避難訓練や防災食を体験することで、地域の避難経路や避難場所の課題を共有する。
- 県教育委員会主催の防災教育推進フォーラムでの実践報告を通して、県全体で成果と課題を共有し、高知県の学校等における防災教育の推進を図る。

2. 事業概要

(1) 運営体制



| (2)開催実績 | |
|-----------|--|
| 月 日 | 内 容 |
| 5月17日 | 参加団体運営会(事業日程の調整及び運営体制の検討)(高知市教育委員会) |
| 5月29日 | 防災キャンプin黒岩 第1回企画運営委員会(佐川町教育委員会) 議題:①事業の説明 ②黒岩の防災について(研修)③協力いただきたい内容 |
| 6月12日 | 防災キャンプin黒岩 第2回企画運営委員会(佐川町教育委員会) 議題:①実地研修場所の確認 ②タイムスケジュール確認と役割分担 |
| 6月20日 | 防災キャンプin黒岩 事前準備委員会(佐川町教育委員会) 個々の担当の方々と準備(地域の関係機関) 佐川町民会議総会にて「防災研修会 I・II」への参加依頼(佐川町教育委員会) |
| 6月21日 | 黒岩いきいき応援隊総会にて「防災キャンプ in 黒岩」への協力依頼 (佐川町教育委員会) |
| 6月26日 | 防災パトロールの会にて「防災キャンプ in 黒岩」活動紹介(佐川町教育委員会) 防災キャンプ担当者打ち合わせ会(四万十市教育委員会) |
| 6月28日 | 布師田防災キャンプ第1回運営委員会(高知市教育委員会) |
| 6月28～30日 | 「防災キャンプin黒岩」の実施(佐川町教育委員会) 黒岩中央保育所・黒岩小学校・黒岩中学校の全児童生徒の参加 |
| 7月8日 | 防災キャンプin黒岩 第3回企画運営委員会(振り返り)(佐川町教育委員会) |
| 7月12日 | 第1回実行委員会(四万十市教育委員会) |
| 7月24日 | 山の子防災キャンプin物部 第1回企画運営委員会(香美市教育委員会) |
| 7月31日 | 第2回実行委員会(四万十市教育委員会) |
| 8月6～7日 | 四万十市立後川中学校 防災キャンプ1回目の実施(四万十市教育委員会) |
| 8月22日 | 山の子防災キャンプin物部 第2回企画運営委員会(香美市教育委員会) |
| 8月30日 | 第3回実行委員会(1回目の検証)(四万十市教育委員会) |
| 9月19日 | 防災キャンプ2回目に向けての打ち合わせ会(四万十市教育委員会) |
| 9月20日 | 山の子防災キャンプin物部 事前学習「防災学習講演会」(香美市教育委員会) 講師:石巻市立門脇中学校 増子光昭教頭先生 |
| 9月24日 | 山の子防災キャンプin物部 生徒:活動のめあて設定(香美市教育委員会) |
| 9月30日 | 第4回実行委員会(四万十市教育委員会) |
| 10月3～4日 | 四万十市立後川中学校 防災キャンプ2回目の実施(四万十市教育委員会) 香美市立大柄中学校 山の子防災キャンプin物部の実施(香美市教育委員会) |
| 10月8日 | 山の子防災キャンプin物部 生徒:ふりかえり(香美市教育委員会) アンケート メッセージ書き 防災ポスターづくり |
| 10月10日 | 布師田防災キャンプ第2回運営委員会(高知市教育委員会) |
| 10月25日 | 参加団体運営会(第1回防災キャンプにむけて)(高知市教育委員会) |
| 10月28日 | 山の子防災キャンプin物部 第3回企画運営委員会(香美市教育委員会) |
| 11月9日 | 防災学習発表会(学習発表会の場)(佐川町教育委員会) |
| 11月16日 | 文化祭にて防災キャンプの取り組みについて発表(四万十市教育委員会) (保・小・家庭・地域への発信) |
| 11月22～23日 | みんなで体験しよう, 晩秋の防災キャンプ in めのしだ(高知市教育委員会) (小学校, 保育園, 自主防災等) |
| 11月24日 | 第22回全国ボランティアフェスティバル高知にて実践発表(香美市教育委員会) |
| 12月2日 | 第5回実行委員会(事業の報告と総括)(四万十市教育委員会) |
| 12月10日 | 「物部地区生きがい教室」にて防災学習発表会実施(香美市教育委員会) |
| 12月12日 | 布師田防災キャンプ第3回運営委員会(高知市教育委員会) (第1回防災キャンプの反省と第2回防災キャンプ細案検討) |
| 1月10～11日 | 体験しよう, 厳冬の防災キャンプ in めのしだ(高知市教育委員会) |
| 1月29日 | 布師田防災キャンプ総括(高知市教育委員会) |
| 2月2日 | 「平成25年度高知県防災教育推進フォーラム」の開催(高知県教育委員会) 香美市立大柄中学校生徒による実践発表 |

3. 防災キャンプ実施概要

【香美市教育委員会】

実施内容: 大柘中学校

事前学習① 9月20日(金)5・6 時間目
 山の子防災キャンプin物部「防災学習講演会」
 講師: 石巻市立門脇中学校 増子光昭教頭先生

増子先生は実際に震災を体験した方なので、話を聞いたり映像を観てたりしても、その時の状況がとてもしっかりと分かりました。津波は水の塊という事も初めて知りました。震災が起きてから、たくさんの人の援助があったからこそちゃんと生きていられるような事を聞いた時、とても感動した。自分たちが普通に使っている水も災害時にはとても大切な物でそのことは普段から意識しておこうと思いました。
 ここに津波はこないけど、ダムの崩壊、土砂崩れの可能性があるの、そのことも意識する。



事前学習② 9月24日(火)6時間目 活動のめあて設定

日程

10月3日(木)

(給食)

12:30~13:10

講話「護られるだけじゃない！中学生」(高知大学 大槻准教授)

13:30

大柘地区地域住民避難訓練

想定は休日！地震発生

場所: 大柘中学校グラウンド

(自主防災組織・民生児童委員・自治会・大柘小5・6年生)

○サイレンを合図に避難開始

○大柘地区避難訓練(地域住民、保護者、大柘中生徒、大柘小児童、関係機関団体) 参加者 約150人



14:00

避難所開設

※学校開放は行政が行う設定

○学校長、行政による避難所設置

受付設置

○名簿を作成する

○点呼、誘導は、自主防の代表者が行う

備蓄倉庫等、張り紙による場所の明示、健康チェック等

○地域在住の教員と生徒が行う

白テント6張 設置 ブルーシート・イス準備

○地域住民のトレーニングと生徒と協働作業



住民へ防災の話 ○高知県防災砂防課の方の話聞く

ライフライン停止(電気・水道)の設定

15:00

食事準備 ※レトルトカレー(ご飯を薪で炊く) ○地域住民と生徒と協働作業

(17:00)

※避難所「本部」(グラウンド)にてふりかえり 課題等

17:00

避難所宿泊体験 場所: 大柘中学校体育館

対象: 大柘中学校生徒 大柘小学校5・6年生 教員 保護者 大学生 (約70名)

宿泊体験準備

生活班の確認(3年生中心)

18:00

【話しあい活動】 ○実際に準備をしたあとに、気づきを共有する

20:00

就寝準備 * 持参物: 歯ブラシ・タオル・懐中電灯・水筒

21:30

就寝

10月4日(金)

6:00

起床 朝食準備 体育館テント片付け

8:30

防災グッズ体験(防災袋、簡易シャワー、浄水器等操作体験)

9:30

【話しあい活動】 わたしたちのできること

11:30

* 小学生の参加はここまで

12:00

非常用ご飯試食 ○非常用ご飯、おかず試食

○解散 終了



【佐川町教育委員会】

実施内容: 黒岩小学校

| | | | |
|-----------------------|---|-------------------------------------|---|
| 6月28日(金) | | 黒岩中央保育所・黒岩小学校・黒岩中学校の全児童生徒の参加 | |
| 8:30 | 開会式 | | |
| 8:50~11:30 (9:40~) | 防災マップ I「保・小・中合同で通学路の危険箇所を調べよう」 地域の方と保育園児で昼食をつくろう(協力:地域・保護者15名) | | |
| 11:30 | 昼食(130食) | | |
| 12:40~13:10 | 防災マップ II「学びを発表しよう ここで地震が起こったらどうする?」(参加者120名) | | |
| 13:15 | 防災グッズ紹介 | | |
| 13:30 | 応急処置体験 | |  |
| 15:10~17:00 | 保・小・中別の行動 | | |
| 17:15~18:00 | 引き渡し訓練 | | |
| 18:00 | 1日の振り返りと2日目の活動確認 | | |
| 20:00 | 就寝 | | |
| 6月29日(土) | | 黒岩小学校全児童、保育所児童は保護者と希望参加、中学生(協力者として) | |
| 6:00 | 起床 | | |
| 6:30 | 朝の集い・黒岩避難所ボランティア隊の活動・朝食準備・清掃 | | |
| 7:20 | 朝食(乾パンと水) | | |
| 8:15 | 1・2年生登校 | | |
| 9:00~10:30 | 防災学習会 I「南海地震に備える」講師:高知大学 岡村 眞 特任教授 | | |
| 10:30~13:30 | 消防団・地域の方の協働活動(参加者100名) | | |
| 13:30~15:20 | 起震車体験・煙体験・消火活動 | |  |
| 15:30~16:00 | シャワー・救急救命法 | | |
| 16:00~20:00 | 親子で防災を考えよう(黒岩小学校PTA 120名) | | |
| (18:00~19:00) | 防災を考えるミニ研修会 | | |
| 20:20 | 2日目の振り返りと3日目の活動確認 | | |
| 21:00 | 宿泊体験(小学2年生希望者、3~6年生、保護者) | | |
| 6月30日(日) | | 黒岩小学校全児童・黒岩中央保育所児童は保護者と参加(希望) | |
| 6:00 | 起床 | | |
| | 朝の集い・黒岩避難所ボランティア隊の活動・朝食準備・清掃 | | |
| 7:20 | 朝食(乾パンと水) | | |
| 8:15 | 1・2年生登校 | | |
| 9:00~10:30 | 防災研修会2「東日本大震災を体験して」 講師:多賀城市教育委員会 麻生川 敦 学校教育課長 | |  |
| 10:40~12:10 | 昼食用炊き出し訓練 おにぎりと味噌汁 | | |
| 13:00~13:30 | 起震車体験・煙体験・消火活動 | | |
| 15:30~16:00 | 閉会式 | | |

四万十市教育委員会

実施内容:後川中学校

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 8月6日(火) ☆第1回 | |
| 7:30 | 自宅で被災 身の安全を確保し、避難場所へ自主避難 |
| 8:30 | 朝食 乾パンとスープ(非常食) |
| 9:30 | 学習内容①-1 東日本大震災ビデオ視聴 ～巨大地震への備えや安全～ |
| 10:30 | 学習内容①-2 四万十市の防災対策 避難時の被害のシミュレーション |
| 11:10 | 学習内容② 昼食づくり 非常食利用 |
| 13:00 | 学習内容③ 避難生活用具づくり「食・住」をみんなで体験 |
| 15:00 | 学習内容④ ～命を守る体験 応急手当疑似体験～ |
| 17:00 | 学習内容⑤ 夕食づくり 非常食炊き出し体験 |
| 18:00 | 学習内容⑥ 寝床づくり テント張り |
| 19:00 | シャワー体験(水の大切さ体験) |
| 20:00 | 学習内容⑦ 1日目のまとめ |
| 21:00 | 就寝 |
| 8月7日(水) | |
| 6:30 | 学習内容⑧ 起床・朝食づくり |
| 8:00 | 学習内容⑨ 防災キャンプ宿泊体験のまとめ |
| 10:00 | 学習内容⑩ 中学生は自力帰宅 ※全員帰宅確認の上、防災キャンプ日程終了 |



| | |
|---------------|--|
| 10月3日(木) ☆第2回 | |
| 9:30 | 地域住民の避難訓練開始 避難場所へ自主避難 |
| 10:30 | 避難者名簿の作成 |
| 11:00 | 昼食づくり |
| 12:00 | 昼食配膳 |
| 13:00~14:50 | 講演「被災時の対応等について」～短時間豪雨、洪水、家屋の倒壊、土砂崩れ、土石流～ |
| 15:00 | 地域の危険箇所把握フィールドワーク |
| 16:00 | 夕食準備～非常炊き出し体験～ |
| 17:00 | 夕食(中学生が主体となって配膳) |
| 17:30 | 引き渡し訓練(小学生の帰宅) |
| 18:00 | 宿泊体験 |
| 19:00 | 1日目のまとめ(各班で話し合い) |
| 21:00 | 就寝(寒さへの対応) |
| 10月4日(金) | |
| 6:30 | 起床・朝食づくり |
| 8:00 | 防災キャンプ宿泊体験のまとめ |
| 9:00 | 後片付け |
| 10:00 | 火災消火訓練・起震車体験・降雨体験・3D土石流体験(地域の小中学校と合同) |
| 12:00 | 防災キャンプ全日程終了 |
| 12:30 | 中学生は自力帰宅 |



実施内容: 布師田小学校

11月22日(金) 晩秋の防災キャンプ in めのしだ

- 14:00 ○地震避難訓練(通学班でグループを編成・避難場所へ移動, 受け渡し訓練)
- 14:30 ○体育館集合(6年生リーダー・保育園児, 地域住民は居所のグループに入る)
- 15:20 ○講演・フィールドワーク(同時進行)
 ※ 講演: 防災食の話(参加者: 保護者, 地域住民)
 ※ フィールドワーク(参加者: 児童, 教員)・講師: 高知大学 村上英記教授
- 16:40 ○休憩・就寝準備
- 17:30 ○夕食(非常食体験: メニュー: ビスケットと水)
- 17:45 ○防災食の食べ比べ「おいしかったベスト5」
- 18:30 ○まとめ 講師: 高知県立大学 廣内智子講師
- 19:00 ○防災マップの作成 助言・指導: 高知大学 村上英記教授
- 20:00 ○避難場所での過ごし方 講師: 布師田消防団 徳弘徳昭さん, ほか
- 20:30 ○低学年就寝・高学年はマップ作りを継続
- 21:30 ○高学年就寝
- 22:30 ○スタッフ就寝



11月23日(土)

- 6:30 ○起床(準備の早い児童はラジオ体操)
- 7:00 ○朝食(メニュー: ご飯と味噌汁)・PTAによる炊き出し
- 8:30 ○フィールドワーク(参加者: 児童, 保護者, 教職員, 地域住民)
- 11:00 ○帰校・防災マップの完成と発表準備
- 12:00 ○昼食(メニュー: カレー, 米飯)
- 13:30 ○防災マップ発表会 講評: 高知大学 村上英記教授
- 14:30 ○閉会式
- 15:00 ○スタッフ解散



1月10日(金) 厳冬の防災キャンプ in めのしだ

- 14:30 ○開会式(開会あいさつ, 講師紹介, オリエンテーション)
- 14:40 ○応急処置のしかた 講師: 日本赤十字社高知県支部 黒田文子主事
- 15:50 ○地震から身を守る方法を知る(ガラスの飛散防止対策)
 ・講師: 株式会社フタガミ防災アドバイザー 楠瀬淳司さん 村上武彦さん
- 16:30 ○講演「被災と避難所の生活」
 ・講師: 総務省消防庁防災アドバイザー YY防災ネット 吉田亮一さん
- 体験活動(同時進行)
- 18:00 ※ 避難所づくり(段ボールハウス)・指導: 吉田亮一さん
 ※ 炊き出し
- 19:00 ○夕食(メニュー: レトルトカレー, ごはん) 児童の炊き出し
- 19:30 ○夕食片付け・段ボールハウスづくり
- 20:30 ○ビデオ視聴(東日本大震災を知る～津波被害について～)
- 21:30 ○就寝準備(暖かく寝るための工夫<2人が一つのブースで寝る>)
- 22:00 ○就寝(消灯)

1月11日(土)

- 6:30 ○起床
- 6:50 ○段ボールハウス片付け・朝食準備
- 7:30 ○朝食(メニュー:)
- 8:00 ○朝食・段ボールハウス片付け
- 9:00 ○閉会式(・吉田亮一さんからの話・お礼のあいさつ)
- 11:00 ○スタッフ解散



4. 普及啓発の実施概要

香美市教育委員会

| | |
|---|---|
| 活動名 | 第22回全国ボランティアフェスティバル高知 市民力を高める人づくり 分科会A: 事例発表 |
| 趣 旨 | 防災キャンプを含む大柵中学校の活動の様子を紹介 「僕らが守る物部の未来～わたしたちができること～」 |
| 実施期日 | 平成25年11月24日(日) |
| 実施場所 | 高知商工会館 |
| 参加人数 | 50人 |
| 対 象 | ボランティア・NPO活動者 社協職員、福祉教育・ ボランティア学習に関わる方 |
| プ ロ グ ラ ム | |
| 時 間 | 内 容 |
| 10:00 | 事例発表 ・大柵中学校の取り組み 福祉教育を基盤に本校が取り組んできた活動を紹介:キャリア教育 「僕らが守る物部の未来～わたしたちができること～」 (森林環境学習・塩の道ボランティア・植樹ボランティア、 湖水祭りへの参加、防災学習、ゆず収穫ボランティア、 物部生きがい教室への参加) |
| 10:30 | |
| 活動名 | 生きがい教室 |
| 趣 旨 | お年寄りへの防災メッセージ 防災啓発ポスターの配布 キャリア教育で実施している活動の紹介 |
| 実施期日 | 平成25年12月10日(火) |
| 実施場所 | 奥物部ふれあいプラザ |
| 参加人数 | 50人 |
| 対 象 | 物部町在住のお年寄り |
| プ ロ グ ラ ム | |
| 時 間 | 内 容 |
| 11:00 | 生きがい教室の中で中学校が担当する時間設定(1時間) 全校合唱 箏の演奏(3年) キャリア教育の発表(防災キャンプの様子等) * 防災の呼びかけ、ふりかえりで作成したポスターの配布 各学年の出し物 お年寄りとの交流 |
| 12:00 | |
| WEBや広報誌等を活用した普及啓発 | |
| 高知新聞掲載 事前学習 山の子防災キャンプin物部「防災学習講演会」の様子紹介 「地域の一員の意識をもって、自分のできることを考えて」9月24日(火) 山の子防災キャンプin物部 活動の様子紹介 「大柵中で防災キャンプ」避難生活140人が体験 10月6日(日) テレビ高知 がんばれ高知!! eco応援団 にて 「山の子防災キャンプin物部」活動の様子放送(20分) 10月27日(日) 物部町内への防災ポスターの掲示 11月～ | |

佐川町教育委員会

- 「防災キャンプ in 黒岩」の紹介【広報佐川 6月号】
- 「防災キャンプ in 黒岩」の紹介【黒岩いきいき応援隊新聞 6月号】
- 防災学習の風景がTVで放映される【さんさんTV「イブニング高知」6月28日】
- 防災キャンプの記事が掲載される【高知新聞 7月4日】
- 「防災キャンプ in 黒岩」の活動報告【広報佐川 9月号】
- 日本手紙出前授業「防災キャンプでお世話になった方にお礼の手紙を書こう」【Letter Park 9月号】
- 黒岩小学校学習発表会にて第6学年が「防災」をテーマに発表
【参加者：児童・保護者・地域・教職員 130名】

四万十市教育委員会

(1) イベント等の開催

2回の防災キャンプの学習のまとめを、本年度11月16日(土)に開催した本校文化祭において、校区保育所園児、小学校児童及びその保護者や地域の方々に生徒自らがプレゼンテーション作成し、防災意識の向上の大切さについて発信することができた。

(2) WEBや広報誌等を活用した普及啓発

8月の1回目の防災キャンプ事業については、8月中の高知新聞朝刊に掲載、また9月の四万十市広報誌を通じ広く市民に広報することができた。あわせて、2回の防災キャンプ実施の時期の前後には、家庭用の学校だよりに実施予告と実施報告を掲載し配布。地域に向けては、本校の地域向け学校だより(「かわらばん」)に内容を掲載し、地域の全家庭へ回覧し、活動についての発信をすることができた。また、学校だよりについては、本校HPに随時アップしアクセスして閲覧できるようにしている。

高知市教育委員会

| | |
|-------|--|
| 活動名 | 平成25年度高知市防災講演会 |
| 趣旨 | 高知市の防災活動報告を行い、防災の取り組みを全市に広げる |
| 実施期日 | 平成26年1月26日(日) |
| 実施場所 | 高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール |
| 参加人数 | 約300名 |
| 対象 | 高知市民他 |
| プログラム | |
| 時間 | 内容 |
| 12:30 | 開場 |
| 13:00 | 開会 開会あいさつ |
| 13:10 | 防災活動報告「内陸部における防災キャンプの取り組み」 ～ゆれと津波に地域共働で備える～ 布師田小学校校長, 6年児童が発表 |
| 13:30 | 基調講演 東京大学 目黒公郎 教授 「効果的な地震・津波被害の軽減策の立案と実施のために」 |
| 15:00 | 平成25年度防災人づくり塾 修了式 |
| 15:30 | 閉会 |

高知県教育委員会

| | |
|---|---|
| 活動名 | 平成25年度 高知県防災教育推進フォーラム |
| 趣 旨 | 高知県の防災教育のより一層の推進を図るため、今年度、本県の防災教育にご指導いただいた大学准教授による基調講演や本年度の防災教育推進モデル校による実践発表等を行い、南海トラフ地震に備え、子どもたちの防災対応能力の向上と高知県の学校等における防災教育のより一層の推進を図ることを目的として開催する。 |
| 実施期日 | 平成26年2月2日(日) |
| 実施場所 | 高知県立高知追手前高等学校芸術ホール |
| 参加人数 | 約200名 |
| 対 象 | 教職員、市町村(学校組合)教育委員会学校安全担当者、市町村防災担当職員 PTA、防災教育に関心のある方等 |
| プログラム | |
| 時 間 | 内 容 |
| 13:00 | 開会 開会挨拶 高知県教育長 中澤卓史 |
| 13:10 | 講演1「国の防災教育の動向について」 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 安全教育調査官 佐藤浩樹 氏 |
| 14:00 | 高知県の取組 「高知県安全教育プログラムに基づく防災教育」 |
| 14:30 | 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 課長補佐 岡田直子 休憩 |
| 14:40 | 実践発表「高知県防災教育推進モデル校の実践から」 ○高知市立南海中学校「実践的防災教育推進事業拠点校」※中学生による発表 ○香美市立大柄中学校「防災キャンプ推進事業実施校」 ※中学生による発表 ○土佐清水市立三崎小学校「実践的防災教育推進事業拠点校」※教員による発表 |
| 15:40 | 講演2「災害に強い地域を育む防災教育」 |
| 16:50 | 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 大木聖子 氏 |
| 17:00 | 閉会 |
| WEBや広報誌等 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新聞、テレビ等各種メディアへの行事概要の広報 ・高知県教育委員会事務局学校安全対策課ホームページへ「平成25年度防災キャンプ推進事業」として、事業実施モデル校のホームページリンクを張るとともにプログラムの内容を公開 | |

5. 成果と課題

(1) 事業成果

多くの体験と様々な研修を組み込んだ防災キャンプを実施することで、子どもたちだけではなく、PTA、地域住民や関係諸機関等の方々にとっても非常に有益な事業となった。具体的には次のような点があげられる。

○防災キャンプの中で、講演や学習会、フィールドワークを実施することにより、PTA、地域住民、学校が地震や津波に関する情報を地域と絡めながら考えることで、知識の共有化が図られるとともに、地域の新たなネットワークの形成と絆を深めるきっかけとなった。

○災害を想定した不慣れた避難所生活を集団で体験し、被災時の苦労等について、わずかの期間ではあるが、身をもって体験し、共に乗り切ることによって地域の一体感や防災意識の醸成につながった。

○学校が避難所としての機能を一時的にはあれ、果たすことによって、備えの不十分さを実感することができ、今後、必要な準備物をそろえていく契機につながった。

○子どもたちにとっては防災キャンプで知識を学ぶとともに、保護者や地域の方々とのふれあいのなかで、優しさやぬくもりを実感する機会となり、地域を愛する気持ちや自分の役割を意識するなかで、自己肯定感を高める体験となった。

(参加者からの感想)

○保護者・地域の方からの感想

・訓練を継続し、意識を途切らせないことだと思う。今日の小学生が中学生になって、また次の小学生と一緒に訓練ができれば良いと思う。

・今回の体験は、なかなかできないことで、保・小・中そして、地域の方々の一つになれたという体験は良かった。災害が起きた際には、精神的にも肉体的にも、もっとつらい中の作業になるということを確認した。

・中学校が主体となった防災キャンプであったが、保育所・小学校・中学校・地域の幼児から大人まで参加したことで、後川地区の防災意識が少しでも高まるきっかけとなった。

・机上の理解よりも、現状に立ち返り、被災した教訓を少しでも減災化する方法を身体で体得することは必要不可欠である。特に、水、ガス、電気のライフラインの確保と必要最小限の使い方について体験することは大切であった。

・普段から防災意識の高い方は参加も前向き。少しでも危機意識を地域全体で共有し、逃げる事への積極性をどう付けるかが問われる。そのためには、子どもたちからの発信がひとつの大きな方法である。

○児童生徒からの感想

・私たちがいつも通っている通学路には、目には見えない危険がひそんでいることが分かった。100%安全な場所はどこにもないことが分かった。また、地震が起ると、いろいろな災害が起こるから、避難所ではみんなで助け合って生活したい。

・地域の人たちが、昼食や夕食作りを手伝ってくれたり、いろいろなことを私達のために協力してくれたりして、ありがたかった。

・防災キャンプでは、地域の方とご飯を作り、消防団の人たちと活動できてうれしかった。岡村先生や麻生川先生のお話を聞いて、地震が起きたら地域の方と協力して助け合うことが大切だと思った。

・防災活動は縦割り班で行動することが多い。私は、6年の班長として、7名の班員をきちんとまとめ、積極的に地域の人との活動をしようという思いで臨んだ。防災キャンプには、地域の方やPTAが、炊き出しバケツリレーなどの防災訓練に協力してくださった。私の父(消防団)と祖母(民生児童委員)も参加した。私も班長として「黒岩小避難所ボランティア隊」の活動(清掃活動)をした。実際の地震の時には、今回以上に地域との協力が大切だ。避難所生活を体験できてよかった。黒岩小学校で開催される佐川町総合防災訓練に、私は、進んで参加する。

(2) 事業運営上の課題・留意点

課題としては、地域と共同して事業を実施するための困難さがあげられる。

○学校だより等で事業の実施に向けてPRをしたが、実施日が平日ということもあり全家庭が参加とはならなかった。

○事業実施日の曜日設定を休日にし、参加可能なプログラムとしたが全員参加とはならなかった。

○地域の行事との調整を行う必要があり、時期が制約される。

更に防災キャンプの成果を県下全域に広めていくためには、実施市町村の事前の取組から県下全域に広報活動をかけ、多くの人々に情報発信をしていくことが不可欠である。

(3) その他

次年度は、沿岸部にある4つの浸水域のモデル地域を設定し、下記の活動ポイントに重点を置き、取り組んでいく。

○「異年齢の関わり」をキーワードに地域のみならず保幼小中が連携し異年齢集団での活動を展開する。

○東日本大震災の際には本県でも大きな被害を受けた地域を設定し、もし、南海トラフ地震が発生した時には甚大な被害が予想される地域で、より実践的な取組を展開する。

6. 団体プロフィール

高知県教育委員会事務局 学校安全対策課

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1-7-52

TEL: (088)-821-4533 FAX: (088)-821-4546

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



【危険箇所フィールドワーク・黒岩小】